

## 11-07MJ 修士論文の提出について

各年度の9月及び3月に前期課程を修了する予定の者は、修士論文を、以下のように提出すること。  
提出方法及び詳細な日程は国際開発研究科のウェブサイト参照のこと。

1. 提出期限：(9月修了予定者)

当該年度の6月指定日

(3月修了予定者)

当該年度の1月指定日

2. 提出物： 論文本体

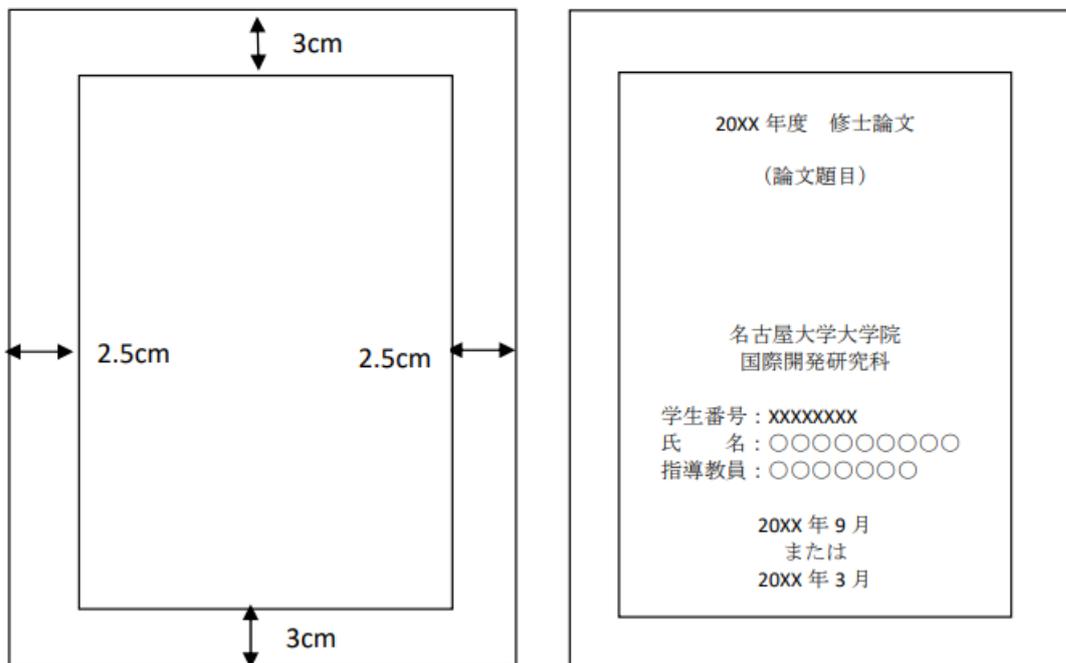
論文要旨（和文4,000字又は英文1,600語程度）

剽窃チェック確認書（研究科指定様式）

修士論文提出時の確認事項（研究科指定様式）

3. 使用言語：日本語又は英語

4. 表紙等：表紙に、20XX年度修士論文、論文題目、研究科名、学生番号、氏名、指導教員名を記載する。



5. 作成要領

用紙サイズはA4とし、以下の要領で作成する。

(1) 日本語は、1ページ当たり約36行、1行当たり約40字（全角、MS明朝 11ポイント）

英語は、1ページ当たり約24～26行（半角、Times New Roman 12ポイント）

(2) 原則として横書きとする。

- (3) マージンは、おおよそ図のように取ること。
- (4) 以下の順に結合した単一のPDFとする。
  - 1. 表紙
  - 2. 剽窃チェック確認書
  - 3. 修士論文提出時の確認事項
  - 4. 論文要旨
  - 5. 論文本体
- (5) ページ番号を付すこと（ページの下部，中央）。
- (6) 注は，各ページの下又は章末に付けること。
- (7) タイトルの書式は以下のルールに従うこと。
  - ・ 主題については、英語の場合はキャピタライゼーションルールに則る。
  - ・ 副題の付し方については以下の通りとする。
    - 英語論文の場合 「:」（半角のコロン）で区切る。
    - 日本語論文の場合 「-」（全角のダッシュ）で区切る。

6. 口述試験日：(9月修了予定者)

7月指定日

(3月修了予定者)

2月指定日

- ・ 口述試験においては，原則として学生の説明は5分程度とし，審査委員の質疑応答の時間を確保するように努める。
- ・ 口述試験時には，学生は修士論文及び論文要旨のみ参照することができる。

7. 認定修士論文提出期限等

口述試験後，研究科教授会の修士学位論文審査で合格と承認された者は，指定された日までに誤字，綴りの誤りなどを修正した認定の修士論文をPDFファイルとして指定された場所にアップロードしなければならない。提出方法は別途通知する。

なお，紙媒体で製本した修士論文の提出は不要である。